

ジョージア大使のワイン外交

伊勢 障害児と交流深める



同国原産ブドウ栽培見学

ワイン発祥の地ジョージアのティム・ラズ・レジャバ駐日大使(36)が7月31日、障害者がワインを醸造している「伊勢ワイン株式会社」(伊勢市村松町)を訪れ、写真、子どもたちやスタッフと交流し、農園とワイナリーを見学した。レジャバ大使は、伊勢市の老舗乳製品メーカー「山村乳業」のジョージア原産乳酸菌を使った新商品発表イベント出席と市長表敬のため来勢。「伊勢ワイン」がジョージア原産のブドウ品種「サペラヴィ」を栽培してワインを造っていることを知り、私的に訪問した。「伊勢ワイン」は、県内4カ所で障害児の放課後デイサービス施設を、6カ所で高齢者リハビリ施設を運営している「ケアプロフェッショナル」(岩崎直明社長)が運営するワイン醸造会社。岩崎社長は障害を持つ子の保護者の声を受け、「障害者が社会とつながりを感ずる、生きがいや誇りを持つて働ける場所を作りた」と2018年から市内で耕作放棄地を借り、ブドウの栽培を始めた。市も活動を支援し、国の「ワイン特区」の指定に尽力。23年春からワインを醸造している。

その後、障害者の特性を生かすため、あえて機械を使わずに全て手作業で行っているワイナリーとジョージア原産のブドウ品種「サペラヴィ」が1500本植えられた農園を見学。写真。岩崎社長が「この暑さでブドウが弱っている」と状況を説明すると、その場でジョージアの専門家とオンラインで回線をつなぎ、暑さへの対策など栽培についてのアドバイスをもらう場面もあった。岩崎社長は「ワインを通して、まさか大使と交流が生まれるとは想像もしていなかった。これを機に、さらに交流が深まっていけばうれしい」と話していた。

【小沢由紀】

「離島甲子園」の愛称で呼ばれる全国離島交流中学生野球大会が19～22日、長崎県・杵岐島で開催されるのを受け、出場選手たちの激励会が7月31日、鳥羽市役所で開かれた。選手たちは「今年こそ1勝をあげたい」と張り切っていた＝写真。

大会は、交流機会の少ない全国の離島の中学生が野球を通じて交流し合おうと、2008年夏に東京都・大島町(伊豆大島)で始まり、今回で15回目。プロ野球OBの村田兆治さんの提唱で、05年から3年間行われた大会が前身。

激励会には答志島の答志中の16人と鳥羽東中の1人の生徒17人が参加。キャプテンの答志中3年、中川銀牙さんが「去年は1回戦で敗れたので、17人が力を合わせて1勝することに全力をあげたい」と同時に離島生との交流を深めたい」と抱負を語った。

【林一茂】

離島甲子園 活躍誓う

鳥羽 答志中など17人参加



自費出版をお値打ちに。



これから自費出版をしたいとお考えの方、興味はあるけど文章力に自信が…という方、ぜひ当社にご相談ください。すぐれた編集力と校正力であなたの本作りを全力でサポートいたします。自分史、詩集、小説、エッセイ集、歌集、旅行記、画集、写真集…自費出版に関することなら何でもお任せください。

自費出版の無料見積もりを致します



ホームページの「自費出版のお見積もり」よりご利用ください。
<https://mainichi-nk.jp/>

■ お問い合わせは
株式会社毎日名古屋開発 クリエイトセンター室
名古屋市中区丸の内2-9-6 TEL 052-265-7844 (平日10時～18時)

い せ 毎 日

発行 いせ毎日会
編集室 毎日新聞伊勢支局内
いせ毎日編集室
伊勢市岩瀬1-15-26
電話 (0596) 24-1234
FAX (0596) 21-0174
メール ise-mai@mainichi.co.jp

いせ毎日取扱店

0596
伊勢北部専売所 23-7232
伊勢東部専売所 26-3121
川端・小俣町専売所
29-5133
伊勢二見専売所 43-5004
玉城専売所 67-6835
0598
松阪店 22-0750
三渡川店 20-8515
0596
神社港店 23-7232
明和南店 65-5277
0599
鳥羽店 21-0777
鳥羽南部店 25-5320

次回発行予定
8月30日(金)

カエ竹 ちき 輝銅 庵
松牛焼を

松阪市曙田町一〇五六一五
0598-1231-2340

営業時間: 8時30分～17時30分(日曜休み)



今日もいただく